

科目名	作曲法	授業期間	半 期
担当教員	植田彰、坪能克裕、久田典子、中橋愛生	科目 No.	MCO1121
受講対象	作曲、コンポーザー＝ピアニストコース、ピアノ・創作コースを除く3年	単位数	2単位

目 標 概 要	<p>「楽曲」というものがどのような要素から構成されているのかを学び、更に実際に自らも創作し演奏、みんなと創った世界を共有することで、より深い音楽理解へと繋げることを目標とする。</p> <p>講義と実習を併用した形態による。作曲の原理に始まり、作曲の主要要素であるリズム・響き（和声）・旋律（及び対位法）など各方面からのアプローチによって、創作というものについて考察する。更にその発展形として、作品の構造分析・管弦楽法（楽器学）・編曲実習等にも触れる。</p> <p>但し、クラスごとの特性や習熟具合によって若干内容や順番が変わることがあり、学生に応じてレッスン形式を織り交ぜるなど、臨機応変に多角的なアプローチがなされる。</p> <p>各自の作品は、書くだけではなく実際に演奏もしてみる。そのため授業時間内に発表会形式の日が設けられる。</p>
------------	---

授 業 計 画	1	ガイダンス
	2	動機と主題
	3	楽式
	4	和声音と非和声音
	5	ハーモナイズとリハーモナイズ
	6	伴奏付け
	7	旋律と対旋律
	8	編曲法
	9	楽器法①（弦楽器および木管楽器）
	10	楽器法②（金管楽器および打楽器）
	11	レッスン形式による学生の創作へのアドバイス①（全般への個別相談）
	12	レッスン形式による学生の創作へのアドバイス②（仕上げ）
	13	学生による自作品の発表①（学籍番号の若い者による）
	14	学生による自作品の発表②（学籍番号の遅い者による）
	15	総括

準備学習の内容	学生が作曲を行なうにあたり、授業時間内に全ての学生がピアノを使用することは不可能なため、各自自宅での実習が必要となる。					
履修上の注意	学籍番号により指定されたクラスで受講すること。					
評価方法	試 験	課題(レポート含)	発 表	平常点	その他	合 計
		○	○	○	○	
	補 足	自作品の楽譜提出および授業内での演奏発表、授業への出席状況により採点を行う。受講態度も採点対象とする。				
教材等	必要に応じてプリントを教員が用意し配付する。					